

しらびそ高原施設の指定管理者による管理について

産業経済部観光課

遠山郷における観光振興と地域振興における しらびそ高原施設の位置づけ

遠山郷（上村地区、南信濃地区）には、南アルプスをはじめ、多様性に富んだ豊かな自然や、人々の営みにより保存継承されてきた独自色の強い文化や景観が存在しており、飯田市及び南信州地域における重要な魅力発信拠点であり、観光拠点となっている。

その一方で、遠山郷は、人口減少と過疎化の進行が著しく、地域コミュニティの維持や地域活力の低下が懸念されている地域でもある。

こうした地域に立地している、しらびそ高原施設は、遠山郷観光においては、かぐらの湯に続く集客力を有し、下栗の里等とも繋げた遠山郷周遊観光の核となる施設になっている。加えて、リニア中央新幹線の開業、三遠南信自動車道の全線開通を見据えた時、ユネスコエコパークに登録、日本ジオパークに認定されている遠山郷に存在する当該施設は、全国及び世界的な視野からも、今後ますます人をひきつけ、交流を促し、観光振興につながる大きな可能性を秘めた施設でもある。

また、当該施設は、上村及び遠山郷地域にとっては、豊富な地域資源を活用した交流人口の拡大による地域活性化や、観光振興を通じた雇用の場の創出と域産域消による地域経済の振興を図り、地域コミュニティの持続的な発展を実現していく上での地域振興拠点施設としての位置づけも併せ持っている。

参考資料

「遠山郷観光戦略計画」における位置づけ

遠山郷観光のあるべき姿

- 遠山郷の自然や歴史、生活文化、人情を大切にし、その良さが伝わるサービスを観光客の皆様へ提供し、リピーターの満足度を高め、遠山郷ファンを増やすことを目指します。
- 観光客の皆様と住む人のふれあいを大切にします。
- 遠山郷に若者が定着し、住む人が生き生きと生活できることを目指します。

具体的な戦略（抜粋）

- 既存の観光施設を活用した周遊観光の推進と地元案内人（観光ガイド）による案内
- 遠山郷らしい食文化の提供と土産品の開発……地元食材を利用した郷土食の提供、地元食材や特産物の加工販売など
- 地域主導型（着地型観光）の推進……観光産業による雇用機会の提供、担い手の育成により、観光から地域づくりの循環を創り出す
- 南アルプス山岳高原観光の推進